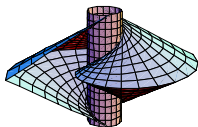


人生半ばを過ぎ、めでたくもあり、
めでたくも無しの年明け。

せめて人生の痕跡を残そうと96年の9月に「八木アンテナを作ろう」なる著書がCQ出版の甕岡さんの努力で出版。税務署の申告書にも著述業と書けるようになりました。



空は広く、しかし確実に宇宙へつながっています。120億年の時間の中で、それでも私の人生時間を有意義に過ごしたいと、せこせこボンヤリと暮らしているのです。

インフレーション宇宙論、さても強引に拡張した世界が基本になっていると言われてはいますが、私の場合も見せかけの知恵のインフレーションでなければ良いのですが・・・

ともあれ、風船だって皮がなければ膨らまない、少なくとも皮は存在すると慰めよう。

人は美的なものに関心を寄せます。形、機能、存在、いろいろな事物、事象に美を見る事があります。それらは人間の想像をはるかに越えているようですが、やはり人が見る事による美なのでしょう。

世界は美を見せてくれます。なぜでしょう、何がそれをして引き付けるのでしょうか？

物事に引き付けられ、その解明をなりわいと趣味にする私も、ときおり自分の心の動きを他人のごとく見る事があります。さても不思議なのはそれなのかもしれません。

<http://www.wind.co.jp/mad>

E-mail mad@wind.co.jp

1996/12/末